

# 一航戦

一輪に添えしは



R-18

成年  
向け



本日付けで  
鎮守府に着任  
致しました

同じく  
加賀

正規空母  
赤城



ザッ



歓迎する

早速だが  
君たちに  
これから



案内しよう

私が直々に  
鎮守府を

い...いえッ  
執務で  
ご多忙なの  
ではッ?

ん  
そうか  
そうだな



かしくまり  
ました



では丁度休憩  
しようと思つて  
いたんだ

散歩に  
付き合つてくれ



変わった方  
だと思つた

…はい



私たちがまた  
提督に信頼を  
寄せていた

提督の信頼を  
自負する程の  
任務をこなし

私たちが鎮守府  
初の正規空母だった  
のもあつて





グハッ  
赤城さん  
私……ッ

私と赤城さんは  
以前から特別な  
関係にあつたけれど

アッ  
ダメ



んんッ

んんッ

ムム


ム




アッ  
アッ

……今夜  
部屋で  
……ね？





赤城さんが  
秘書艦として  
提督の側に  
就くようになり




2人の距離感に  
薄々気づいた私は

その関係が相応しい  
と思いつながら

蚊帳の外で佇んで  
いる自分が

歯がゆかった



そして  
その時は  
きた



加賀さん  
私もうイキ  
そう……ッ!!

はい……ッ  
このまま  
一緒に……!!

クモッ  
クモッ  
クモッ  
クモッ  
あッ  
んあッ!!

ドクドク  
ピクピク

素敵  
だったわ  
加賀さん

私たちの特別な  
関係も

これで終わり

ハアハア……!!  
ドクドク



…祝福して  
くれる？

ケツコンする



…はい

私の好きな  
ひと  
女性  
は



今は  
まだ…



…ごめんなさい  
イジワルな  
訊き方だった  
わね



尊敬して  
いますッ!!  
そういう事  
じゃない…



…提督は  
嫌い？







いつもと  
違う  
赤城さんの  
甘い声…

キュム

キュム

キュム

キュッ



ヒヤッ

トロッ

トロッ

女の顔—



男を受け入れ  
ようと準備  
する身体—  
私の知らない

アッ

アッ



提督  
そこは私

弱—

コキュ

コキュ

コキュ

コキュ

コキュ



はい…提督の  
勃起おち♥ぽ

赤城の膣なごに  
ください…♡

男性器…ッ!!

すごい  
大ききッ!!  
こんな遅しい  
モノが…

赤城さんの  
膣なごに…ッ!?

あッ  
キタ…

んあぁあッ!!

ハッハッ

は  
挿入はったあ  
…ッ♡

和♡

ハッハッ





精液子宮に  
たくさん  
下さいッ!!

はひっッ

射<sup>だ</sup>精すぞ  
赤城ッ!!



くっ...

蚊帳の外に  
いるのが嫌で

嫉妬が体を  
動かした

ミル

私にも

して下さい  
提督ッ

そう嫉妬

けどそれは

又キ...

ウキ

誰に対して...?

ウキ

ウキ

ウキ



ウキ

初めてなので  
優しく

お願い  
します...



いいません  
ですが...

加賀  
前戯は...

ウキ

ウキ



お願いします  
提督



全部挿入した♡

提督を受け入れながら  
赤城さんの優しさが嬉しくて

動くぞ加賀

はい

心が満たされる...

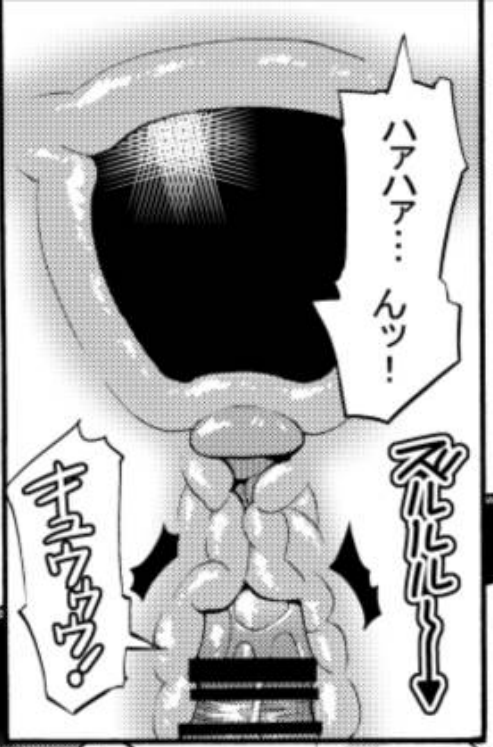


提督のが  
押し拵げ  
てくる…ッ

提督  
もっと  
強く…ッ!!



そ…そんな  
奥…ッ



ハアハア…んッ!



痛みを超えて  
気持ち良さで  
膣が勝手に  
締まる…ッ



…すまん  
今は無理だ

え…ッ?





!?

熱...

もっしん!?

す... すまん  
その...

具合が  
良くてな

構いません  
だって...  
続けてシて  
頂けますよね?

無論だッ

あ...



陸に意識が集中して

この格好  
すごい  
…ッ

んあッ!

提督の動きが  
はつきり分かる…

気持ち良い  
…ッ!!

赤城さん  
…?

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

あッ!  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

あッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

ひゅッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

あッ  
あッ  
んあッ  
んあッ  
んあッ  
んあッ  
んあッ  
んあッ  
んあッ  
んあッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ



あんなに切なそうに自分を慰めて...

ん...ん...ん...  
ふっふっふ

そうだ...  
赤城さんは提督を愛しているのに

私は—

ふっふっふ

ふっふっふ  
ふっふっふ



赤城さん...!!



くっ 縮まる...!?

ピキピキ!

ピキ

ピキ



...私だって

フツ



はあ  
はあ…

ピッ

あッ  
んあ…

ピッ

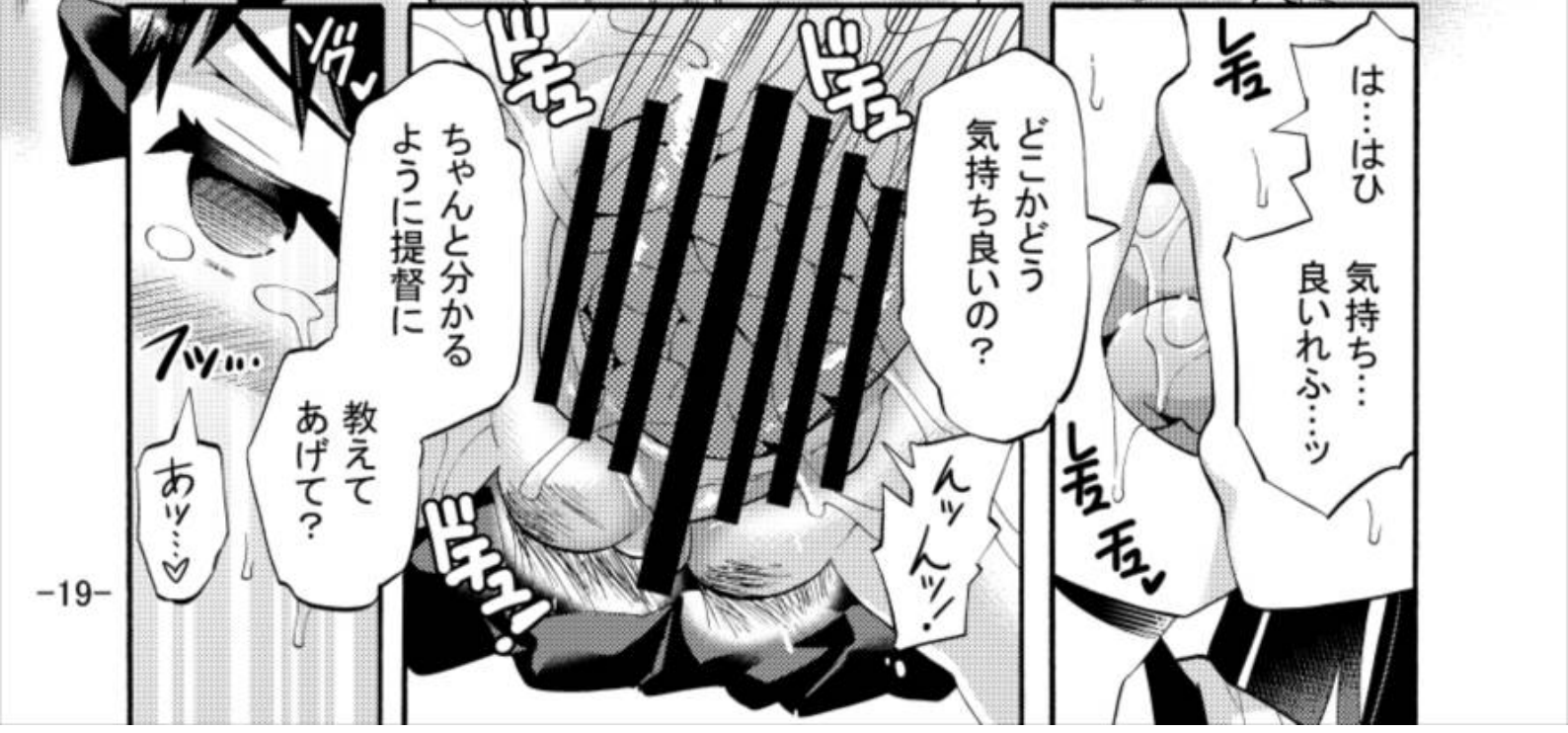
あッ  
♡

キミ♡

ピッ

ピッ  
ピッ

加賀さん  
すごく気持ち  
良いのぞう…♡



は…はひ

気持ち…  
良いれふ…♡

ピッ

ど「かどろ  
気持ち良いの？

ピッ

ちゃんと分かる  
ように提督に

教えて  
あげて？

あッ…♡

んッ  
んッ

ピッ

お  
おッ

フセ  
フセ

私のおま♡  
提督のおち♡ぽが  
エグッて

飛んじやいそうな  
くらい気持ち  
良いです…ッ!!

だからー

イツちやう…

赤城さんが  
見てる前で

私の子宮に  
提督の精液ザクザク

たくさん飲ま  
せて下さいッ!!

卑猥な言葉を  
叫びながら  
だらしなく  
イツちやう…!!

フセ  
フセ  
フセ

承知した  
もう1度

なか  
に射精  
すぞ加賀ッ!!

フセ  
フセ

フセ  
フセ

あッ  
人あッ



いっしょに!!!

アッアッ!

アッアッ!

アッアッ!

んっ...  
たんたん  
アッアッ!

あッ  
あッ...  
アッアッ!





もおツ！  
妻が目の前に  
いるのに夢中で  
腰振っちゃって  
ます  
妬けちやい  
ます

ついな

ポッポ

…突飛だな  
しかし  
加賀君の魅力は  
十分分かる  
…君達が望む  
のであれば

私は  
3人で愛し合う  
道があると考えて  
いるんです  
キュ…

…ねえ提督





提督に敬愛  
以上の気持ちも  
感じながらも  
私は答えを  
出せずにいる





サークル  
じゃばら屋根